



高知県立 林業 大学校

Kochi Prefectural Forestry
College 2022



山を活かし、木と生きる。
スペシャリストへの道

CONTENTS

- 01P 教育理念
- └── 02P 校長挨拶
- 03P 学校概要
- 04P 高知県の
 林業振興の取り組み
- 05P 基礎課程
- └── 06P 短期課程
- 07P 専攻課程
- 08P 森林管理コース
- 09P 林業技術コース
- 10P 木造設計コース
- 11P 教えて!高林大生
- 12P 学校施設
- 13P 学校の特徴
- └── 14P サポート体制

教育理念



林業には希望が

私が初めて手掛けた本格的な木造建築は、「木を全面的に使って欲しい」という要望に応じて設計した高知県梼原町の「雲の上のホテル」です。最初に梼原町を訪ねたのは30年前で、以来、幾度となく高知県を訪れ、そのたびに感銘を受けました。人々の暮らしと森がこれほど深く、温かくつながっている地域は世界でも希ではないのかと。

こうした林業を振興することは、高知県にとって重要であるというだけでなく、日本全体にとっても極めて重要なことであり、この強い思いから高知県立林業大学の校長に就任することを決意しました。



梼原町立図書館「雲の上の図書館」(高知県梼原町)



雲の上のギャラリー(高知県梼原町)

林業再生を担う 若者たちのプラットフォーム

新しい森や木の文化、
技術を熟成し、世界に発信できる
プラットフォームを目指します。

木の世紀をリードする 志ある人材を育成

全国から志を持った若者が集い、
日本の林業や木材産業等の活性化に
貢献する人材を育てます。

現場に学ぶ 実学主義

各分野の第一線で活躍する講師陣や、
フィールド中心のカリキュラムにより、
実践力と応用力を培います。



高知県立林業大学校 校長
隈 研吾 Kengo Kuma

ある。

林業を再生し活性化する プラットフォームで、総合的に学ぶ。

森林が県土の84%を占め、林業の中心地とも言える高知県で学ぶということは、非常に意味のあることだと思っています。周囲の森と一体になったこの素晴らしい環境に立地する本校は、高知県が林業・木材産業をいかに重要視しているかの象徴です。

本校では、木に関わるさまざまな分野を総合的に教えていますが、これは社会がまさに必要としている教育のシステムであり、私が校長就任時に掲げた「林業を再生し、活性化するプラットフォーム」というビジョンは、すでに形になりつつあります。木に関する多様な領域を合わせるプラットフォームは、世界から見ても非常に貴重な存在であり、本校から巣立った人材は、高知県のみならず、日本全国、そして世界の「木の産業」にとって、重要な人材となります。

「木の時代」が来る。

本校で各界の優れた指導者や全国から集った仲間と出会うことによって、林業・木材産業の再生に向けた画期的なアイデアが生まれることでしょう。木の世界は奥深く、多様な技術が絡み合っており、1、2年で学びきれものではありません。社会に出てからも学び続け木の世界を探求して欲しい。そのためには、「木を愛する気持ち」を持ち続けることが重要です。

21世紀は木の世紀・木の時代が来ると、私は予測してきました。本校で学ぶ人は木の時代のリーダーになれる人だと思っています。木の時代を担っていく人材という自覚を持って、互いに切磋琢磨していただきたい。

志を持った皆さん、日本一の高知県の森で、共に学び、成長していきましょう。

学校概要

森林率日本一の高知県で、林業、木材産業、木造建築の各分野で基礎から専門的な技術までをしっかりと学べる学校です。高知県の林業を担う素晴らしい人材を育てることを目的として、平成27年4月に高知県立林業学校として先行開校し、平成30年4月に専攻課程を加え、高知県立林業大学校として本格開校しました。



教育体系

	基礎課程	専攻課程			短期課程
		森林管理コース	林業技術コース	木造設計コース	
概要	林業に携わる上で必要な知識、技術を身につけた、即戦力となる人材を養成します。	森林GISの活用方法や森林施業プラン書の作成技術などを習得した、林業経営の中核を担う人材を養成します。	高性能林業機械のメンテナンスや架線技術などを習得した、林業技術のエキスパートを養成します。	木造住宅から中大規模木造までの設計技術を習得した、木造建築のプロデューサーを養成します。	作業道開設などの小規模林業者向け研修や特用林産物の生産などさまざまな技術を習得した、地域で活躍する人材を養成します。
研修期間	1年 (1,200時間程度)		1年 (1,200時間程度)		1日~1カ月程度
定員	20名	30名(各コース10名程度)			各講座内容により決定
対象者	林業への就業を希望する者	大学や林業大学校等で林業を学んだ者など		高校や専門学校、大学等で建築やインテリアデザインを学んだ者など	すでに林業に従事している者など
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本能力 ● 安全衛生 ● 森林生態学 ● 造林・育林技術 ● 森林・林業・木材産業 ● 林業機械 ● 森林計測 ● 路網作設 ● 里山保全・活用 ● 技能講習・安全教育 ● インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共政策講座 ● 森林GIS講座 ● 森林施業プランナー講座 ● インターンシップ ● 課題研究 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高性能林業機械講座 ● 架線技術講座 ● 森林作業道講座 ● インターンシップ ● 課題研究 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木造建築設計講座 ● 木造防災設計講座 ● 木造建築施工・木材利活用講座 ● インターンシップ ● 課題研究 	<ul style="list-style-type: none"> ● リカレントコース ● 小規模林業向けコース ● 木造建築コース ● 林業改革コース ● プランナーコース ● 元気な地域創造コース ● 技術指導コース ● 資格取得コース ● 市町村職員向けコース

高知県の林業振興の取り組み

高知県は県土の84パーセントを森林が占める、森林率日本一の県です。この豊富な森の資源を余すことなく活用し、林業振興を進めていくことは本県にとって重要な課題の一つであると考えています。

そのため、高知県産業振興計画では「山で若者が働く、全国有数の国産材産地」を目指す姿として、川上から川下まで総合的に施策を展開しています。これまで大型製材工場や木質バイオマス発電所などの整備を進めてきたことにより、県内の原木需要は大きく高まりました。これに応じて、施業地を集約する「森の工場」の推進や高性能林業機械の導入などによる林業生産性の向上を促進し、さらなる原木生産の拡大にも取り組んでいます。また、木材需要の拡大につながる新建材「CLT」の普

及についても全国に先駆けて取り組みを進めるなど、流通・販売体制の確立に力を入れているところです。

こうした林業振興の取り組みを進める上で、その要となるのは担い手の確保、育成です。このため、高知県立林業大学校を設立し、次世代の林業・木材産業をけん引する優れた人材の育成に取り組んでいます。加えて、全国的にも数少ない「木造設計コース」を設置することで、木造建築を担う人材の育成も行っています。

ぜひ、この高知県立林業大学校に入校し、林業の新しい風を感じ、自分の志を立てるための学びの場にしていただきたいと思います。そして、林業・木材産業を生涯の仕事として高知県のみならず、将来の日本をリードする人材として大きく羽ばたくことを願っています。



高知県知事
濱田 省司 Seiji Hamada

高知県の森林の現状

森林面積

- 約60万ha
- 森林率84%

全国
第1位

人工林面積

- 約39万ha
- 人工林率65%

全国
第2位

人工林総蓄積量

- 約1億7,000万㎡

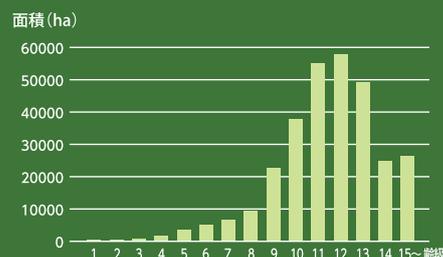
全国
第2位

年間成長量

- 約247万㎡

年間原木
生産量の約4倍

人工林の齢級配置(民有林)



原木生産の拡大

- 労働生産性の向上による事業地の拡大
- 皆伐と再造林の促進
- 施業集約化の強化



担い手の育成・確保

- 林業大学校の充実・強化
- きめ細かな担い手育成・確保の強化
- 林業事業体の経営基盤の強化

林業分野の取り組み

これまでに構築した川上から川下までの仕組みを生かして、木材生産・流通を最適化

サプライチェーン
マネジメントの構築



木材産業のイノベーション

- 高品質な製材品の供給体制の整備
- 製材事業体の生産・経営力の強化
- 木材・木製品の高付加価値化の推進 (A材の活用)
- プラットフォームづくり等による地産・外商体制の強化
- 森の資源を余すことなく活用



木材利用の拡大

(建築士等への戦略的アプローチ)

- 木造建築に精通した建築士等の育成
- 施主の木材利用に関する理解の醸成
- マーケティング戦略の強化
- 関西圏での木材利用に関する提案の強化

即戦力となる人材の養成 基礎課程

年 齢 — 18歳以上
研修期間 — 1年(1,200時間程度)
定 員 — 20名
研 修 料 — 年額130,680円(税込)

※別途、教科書・安全防具・作業着などの購入経費200,000円程度

林業技術や林業機械の操作、森林路網の開設など、フィールドワークが約7割を占め、即戦力となる人材を養成します。

取得できる修了証
(技能講習・安全教育)

林業分野に就業する上で必要な下記の12の特別教育及び技能講習修了証を研修期間内に取得できます。

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 車両系建設機械運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 走行集材機械運転業務特別教育修了証
- 伐木等機械運転業務特別教育修了証
- 簡易架線集材装置等運転業務特別教育修了証
- はい作業従事者安全教育修了証
- 機械集材装置運転業務特別教育修了証



知識・技術のスキルアップ 短期課程

すでに林業や建築設計業務に従事している方々などの知識や技術の向上を目指します。

年 齢 — 制限なし
研修期間 — 1日～1カ月程度
定 員 — 講座内容により決定
研 修 料 — 1日当たり520円(税込)または無料
対 象 者 — 林業や建築設計業務に従事している方
小規模林業実践者、ボランティアの方、
森林・林業・木造建築に興味をお持ちの方など

研修内容

基本能力

- 林業で使う求積公式や情報処理技術
- 林業に必要な基礎体力の育成
- 林業の労働災害事例から学ぶ安全対策や救命講習

安全衛生

- 労働災害の発生原因を理解し、対策を学ぶ。
- 安全用具の目的と使用方法を理解する

森林生態学

- 森林と樹木の構造
- 樹木の特徴・生理学・効能

造林・育林技術

- 育林の目的や目標林型に応じた施肥方法
- 伐木・造材・集材作業の基礎、植栽、保育、間伐までの実習

森林・林業・木材産業

- 全国の林業の動向や政策の最新情報の解説
- 木材利用の基礎、原木市場・集成材工場等の視察
- CLTの利活用、木質バイオマス発電所の視察

林業機械

- 林業の機械化の意義や課題
- 車両系・架線系の作業システムの基礎知識と特性
- 機械操作、集材機操作等の基礎知識と実技

森林計測

- コンパス測量の基礎やGPS等による測量システム
- 森林の材積測定や持続可能な森林整備の手法

路網作設

- 効率的な作業システムに必要な森林路網の開設技術

里山保全・活用

- 森林保全と里山資源の活用や生物多様性
- 特用林産物の活用、鳥獣被害対策

技能講習・安全教育

- 就業時において必要な資格の習得
- 安全管理、作業に必要な知識と技術

インターンシップ

- 森林組合や林業関係企業での就業体験

本校
専攻課程への
進学も!



卒業後の活躍の場

- 森林組合
- 林業関係企業
など

VOICE 卒業生の声

林業大学校の、
ここが魅力!

林業県・高知の力になりたい。

農業高校出身なので、高校でも林業に関する授業があり、関心を持っていました。資格を取得し、卒業後は森林組合に就職して、林業県高知を盛り上げていくのが現在の目標です。私たちが学んでいる林業大学校は、校舎も多種多様な技術が詰まった教材で、実際に触れて学べる環境が想像以上に整っています。また、インターンシップによる職場体験などの学生への支援制度も充実しており、安心して学べます。

高知県出身 基礎課程 北川 知嘉良(当時18歳) Chikara Kitagawa



研修内容

リカレントコース

元気な地域創造コース

小規模林業向けコース

技術指導コース

木造建築コース

資格取得コース

林業改革コース

市町村職員向けコース

プランナーコース

※「リカレントコース」は、本校の専攻課程の講義を広く受講いただけるコースで、他では学べない一流の講師陣による講義となっています。

お申込みについて

高知県林業労働力確保支援センターのホームページで、内容をご確認の上、お申し込みください。

<http://www.shien-center39.com>

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80
TEL.0887-52-5911 FAX.0887-57-0396
E-mail:info@shien-center39.com

中核を担う人材の養成 専攻課程

年齢 — 18歳以上 ※森林管理コース、
林業技術コースの年齢は19歳以上
研修期間 — 1年(1,200時間程度)
定員 — 30名 ※各コースの定員は10名程度
研修料 — 年額130,680円(税込)
※別途、教科書・安全防具・作業着などの購入経費200,000円程度

大学教授や各分野の第一線で活躍する講師による
充実した授業で最先端の技術や知識が身につきます。

専門的な
知識や技術が学べる
3つのコースから
選べます。

森林管理
コース

林業技術
コース

木造設計
コース

将来取得を目指す
資格

- 認定森林施業プランナー
- 林業架線作業主任者
- 森林総合監理士(フォレスター)
- 林業技士
- 森林情報士(森林GIS)
- 建築士 など

3コース共通科目 3コース全ての研修生が共通して学ぶ科目です。

森林・林業経営や森林の持つ多面的機能、
木材利用など幅広い知識を習得できます。
「木造設計コース」の受講生にとっては、森
林文化や森林の重要性、さらには植栽から
伐倒などの造林作業を学び、実践すること
により、建築材料として木材を使う意義、木を
活かすことの重要性を学ぶことができます。

森林・林業経営概論	鳥獣被害対策
造林学・実習	労働安全衛生
森林文化・多面的機能学	救急法講習
木材利用学	無人航空技術
木材コーディネーター	特別活動
地域公共政策	インターンシップ
欧州型林業	課題研究

特別教授 時代をリードする一流の講師陣が学びをサポート! (敬称略 五十音順)

東京大学
名誉教授

有馬 孝禮

農学博士。専門分野は木材物理、木質構造学。宮崎県木材利用技術センター所長。農水省「林政審議会」会長、木の建築フォーラム代表理事などを歴任。



東京農工大学
名誉教授

土屋 俊幸

農学博士。専門分野は林政学。研究テーマは自然資源管理論、観光レクリエーション論。農林水産省「林政審議会」会長を勤める。



芝浦工業大学
名誉教授

三井所 清典

アルセッド建築研究所代表取締役。公益社団法人日本建築士会連合会会長などを歴任。



(株)内海彩建築設計事務所
代表取締役

内海 彩

グラーツ工科大学
教授

Gerhard Schickhofer
(ゲルハルト・シックホフナー)

東京大学
名誉教授

酒井 秀夫

高知大学農林海洋科学部
シニアプロフェッサー

塚本 次郎

(有)ウッズ代表・
木材コーディネーター

能口 秀一

福島大学農学群食農学類
准教授

藤野 正也

(特非)活木活木森
ネットワーク理事長

遠藤 日雄

東京大学生産技術研究所
教授

腰原 幹雄

山佐木材(株)
代表取締役会長

佐々木 幸久

高知大学地域協働学部
准教授

中澤 純治

京都大学フィールド科学教育
研究センター准教授

長谷川 尚史

宮内建築
代表

宮内 寿和

東京都市大学
名誉教授

大橋 好光

工学院大学
理事長

後藤 治

東京大学大学院農学生命科学
研究科教授

白石 則彦

銘建工業(株)代表取締役社長・
(一社)日本CLT協会会長

中島 浩一郎

愛媛大学
名誉教授

林 和男

桜設計集団一級建築士事務所
代表

安井 昇

高知大学
名誉教授

川田 勲

高知大学
名誉教授

後藤 純一

京都府立林業大学校
名誉校長

只木 良也

(一財)日本森林林業振興会
会長

沼田 正俊

木構造振興(株)
客員研究員

原田 浩司

専攻課程

森林管理 コース

目指す人材像

森林のあるべき
将来の姿を描き、実践できる
森林施業のプランナー



森林資源を活用した森林施業のプランナーへ



入校資格 ●林業の実務経験(1年以上)がある者
●大学や林業大学校等で林業を学んだ者 など

公共政策講座



森林・林業政策

国や県が行う森林・林業・木材産業政策のほか補助制度について学びます。また、森林計画制度の学習では、森林経営計画の作成実習など実務の習得を目指します。

森林環境整備

森林の公益的機能の向上と林業の振興に不可欠な治山事業や林道事業について学びます。

林業税制

森林所有者から相談されることが多い林業税制について、基礎的な知識を学びます。

森林GIS講座



森林情報学

森林の基本情報を一元管理する森林GIS(地理情報システム)の基礎知識から活用方法を学びます。また、最新の測量技術であるレーザースカナによる3次元計測技術やLidarデータの活用事例などについて学びます。

森林計測学

広域の森林資源を推定するために、航空写真(オルソ画像)及びリモートセンシングデータを用いた樹種判別などの判読技術、無人航空機(ドローン)の活用技術をはじめ、材積調査手法や林分調査手法などについて学びます。

森林情報学実習

施業地の集約化や路網整備など実際の業務で活用することを想定した具体的で実践的な森林GIS活用技術について学びます。

森林施業プランナー講座



提案型集約化施業

森林所有者に施業の具体的なプランを提示することにより関心を高め、集約化を進める「提案型集約化施業」に必要なスキルを学びます。

目標林型と育林技術

適正な森林管理を行う上で必要となる、目標林型(目標とする森林の姿)の設定と、誘導するための育林技術を学びます。

間伐作業システムと林業機械

生産性を向上させる林業機械の組み合わせや路網の配置など、効率的な作業システムの計画方法を学びます。また、工期調査やコスト分析などを用いた事業計画の改善点を確認する手法を学習・体験します。

路網設計

森林施業を効率的に行うために必要な、林道や作業道などの基礎知識から設計まで、実践的な技術を学びます。

VOICE 卒業生の声

卒業後の活躍の場

- 森林組合
- 林業関係企業 など

業務に必要な不可欠な知識を集中的に学びました。

森林管理コースで学んだことによって、現場で活躍する高性能林業機械と同じように、林業に関する事務作業も、GPS測量をはじめ、地図情報の電子化(GIS)などによって簡略化できると実感しました。林業には、画一的な答えはありません。自然を相手にして、百年先をも見すえた長期的視点で考える仕事です。本校の充実したカリキュラムと設備で学び、あなたにとっての「林業」を見つけませんか。



東京都出身 専攻課程 森林管理コース卒 中島 悠貴 (当時29歳) Yuki Nakashima

就職先 (株)はまさき(四万十町)

専攻課程

林業技術

コース

目指す人材像

現場の第一線で活躍する
高度な技術を身につけた
林業現場のエキスパート



高度な技術を身につけた林業現場のエキスパートへ



入校資格

- 林業の実務経験(1年以上)がある者
- 大学や林業大学校等で林業を学んだ者 など

高性能林業機械講座



林業機械総論

高性能林業機械の種類や性能、メンテナンス、安全で効率的な作業システムなどについて学びます。

高性能林業機械操作実習

高性能林業機械の特性と操作技術、作業システムや現場での作業の流れを学びます。

伐木造材技術

伐木造材機械の安全な取り扱いと正確な操作技術を学びます。

架線技術講座



林業架線

「林業架線作業主任者免許資格」の取得に必要な講習や「機械集材装置の運転の業務に係る特別教育」の修了に必要な知識と技能を学びます。

架線知識開発

架線シミュレーターを活用し、理論と実践による架線力学等を学びます。また、フィールドワークを通じて、作業手順など架線集材の実践的な技術を学びます。

森林作業道講座



作業路網設計

森林経営の基礎的な生産基盤である路網について、測量などの基本的な知識、路網計画等を学びます。

作業道開設技術・実習

計画に基づき実際に作業道を開設します。また、路網を計画する上で役に立つ最先端技術について学びます。

技能講習

車両系建設機械(解体用)、高所作業車運転技能講習、ロープ高所作業者の講習修了証の取得を目指します。

VOICE 卒業生の声

卒業後の活躍の場

- 森林組合や
- 林業関係企業など

林業は、チャレンジする価値のある奥深い仕事。

本コースの搬出間伐実習では伐倒から集材、造材、搬出までを並行して行い、作業に必要な技術のみならず、コミュニケーションの必要性も学べます。作業道開設実習も、仕事で生かせる技術です。私は3回のインターンシップがきっかけで、現在の森林組合に就職しました。林業は体力が不安という方も、私のように学校生活を通じてつけることができます!モチベーションを上げながら取り組んだ林業への挑戦は、自信になっています。



高知県(高知市)出身 専攻課程 林業技術コース卒 片岡 紀文(当時20歳) Motofumi Kataoka

就職先 須崎地区森林組合

専攻課程

木造設計

コース

目指す人材像

森林の重要性を知る
木造建築の未来を拓く
プロフェッショナル



木造建築の未来を拓くプロフェッショナルへ



入校資格

- 建築士の資格を有する者
- 高校や専門学校、大学等で建築やインテリアデザインを学んだ者 など

木造建築設計講座



木質構法概論

日本古来の柱・はりによる軸組構法をはじめ、枠組壁工法やCLT工法、混構造などさまざまな構法の仕組みを学びます。実習では構造模型の製作を行います。

設計・製図

CADや3Dモデリングを習得し、住宅や中大規模建築物の設計課題に取り組みます。講師によるエスキス指導、模型製作を行い、効果的なプレゼンテーション方法を学びます。

環境性能設計、耐久性設計

温熱環境、音環境および腐朽・シロアリ対策などの耐久性について学び、性能設計技術を習得します。

コミュニケーション学

設計の意図を他者に的確に伝えるために、伝える力、聞く力、形にする力を授業と実践的なワークショップによって学びます。

木造防災設計講座



木質構造設計

木造建築物の設計に必要な構造計画・構造設計・構造計算を習得し、地震や風に対して安全な設計法を学びます。

木造防耐火設計

木造建築物の設計に必要な防火、耐火の知識を習得し、火災に強い設計法を学びます。

建築法規

建築基準法ほかの関連法規について学び、適法な木造建築を設計する方法を習得します。

木造建築施工・木材利活用講座



木造建築施工

伝統構法からCLT工法まで、さまざまな木造建築物の施工方法、施工上の要点について学び、適切な監理を行うことのできる知識を身につけます。

木材利用特論

木材の流通や規格について学ぶことで原価管理や木材の効率的な利用方法を習得し、合理的な設計を行うことのできる知識を身につけます。

木材加工・自力制作

木材の各種強度、ヤング係数など物理的性質、特徴について学び、耐力壁の設計と自力制作を行います。

材料実験・測量

材料のヤング係数や含水率の測定、部材の曲げ・圧縮実験、壁のせん断耐力試験などを行います。試験は全国有数の試験設備を有する県森林技術センターのサポートを受けています。

VOICE 卒業生の声

卒業後の活躍の場

- ・設計事務所
- ・工務店
- など

高度な専門性と、木を育て使う環境を体感。

高知県は海と山が近く、川上から川中、川下までが密接です。林業の最前線で、最新の木材利活用建築の事例も多いのが魅力でした。設計士として25年を経た私が、1年間じっくり学び、成長できたことに感謝します。自然・森林環境の大切さ、木を使うことが中心の生活地域に身を置き、知り、将来を見すえた専門性に特化した授業を受け、施設環境の整った本校での学びを、ぜひ。



東京都出身 専攻課程 木造設計コース卒 國枝 東史生 (当時48歳) Toshio Kunieda

就職先 (株)限研吾建築都市設計事務所

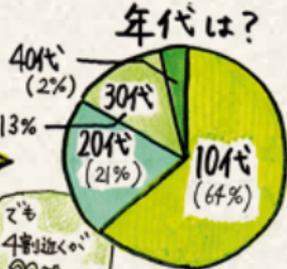
教えて!!

高林大生

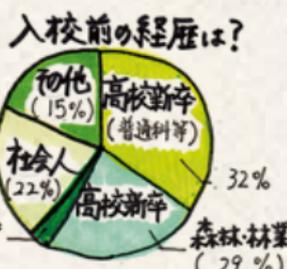


入校して一緒に学ぶ仲間たちはどんな人たちが
意外と気になるものですね。今まで入校してきた
研修生のデータの一部をご紹介します。

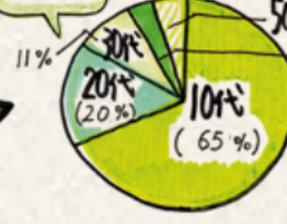
基礎課程



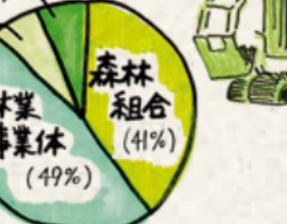
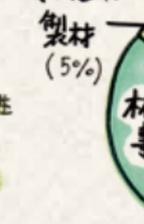
10代が
多い



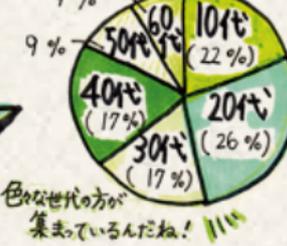
林業林技管術コース



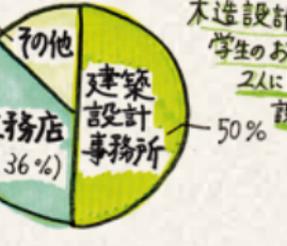
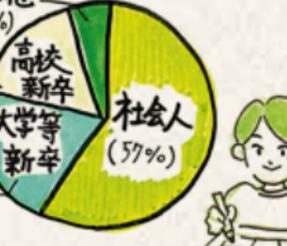
新たに
学ぶことになる人も



木造設計コース



新たに
学ぶことになる人も



高林大生の一日をのぞいてみよう!

高林大生はどんな毎日を送っているのか。授業だけじゃない、私生活の面でも一日のスケジュールをのぞいてみましょう。

基礎課程的場さんは、現場で使える知識や資格を身に付けたいと本校に入校しました。地元と気候の近い本校の環境が住みやすく気に入っているようです。

木造設計コースの及川くんは、高校生の時に担任の先生に紹介されて入校しました。本校で木造建築について学びながら、ダブルスクールで資格取得も目指して勉強中です。

基礎課程
的場 美都樹
Mizuki Matoba
岡山県出身(当時24歳)



朝起きて身だしなみを
整え水筒とお弁当の準備。
それから朝ごはんを
作って食べます。
通学は自転車です
お昼休みは専断したお弁当を
食べてから、学校の図書館で
過ごします。
時間が無ときはコンビニで買っても
い夜はやはり自分の時間い
家事や夕食作り、夕食お風呂、
そしてその日の勉強の振り返り
をして早めに寝ています。
休みの日は...
買い物したり
自宅周辺を
散歩したりしています。

朝ご飯も自炊、お昼の
お弁当も自分で作ります。
シャワーとヘアセットもして
身だしなみも
気を付けています。
お昼休みは
お弁当を食べながら
好きなアニメを見ます。
帰ったらまずその日の勉強を復習
夕食を作った後、その後の時間は
二級建築士取得に向けての
勉強に当てています。
あとは寝るまで YouTube を見てたりして
くつろいでいます。
休みの日は...
資格の学校に通ったり
家で映画を観たりしています。



木造設計コース
及川 広雅
Kouga Oikawa
岩手県出身(当時18歳)



校舎そのものが教材

木の魅力、木造建築の可能性を広げる先進と伝統的技術が集結。

高知県が需要拡大に努める新建材「CLT」や日本伝統の貫工法などを活用した画期的な校舎は、そのものが生きた教材。理想的な環境のなかで、林業や木造建築の基礎から実践まで、幅広く専門性を磨くことができます。

教室

木の温もりを感じながら木造技術を学べる教室。CLTを使った耐力壁や張弦梁を用いた天井なども教材となっています。美しい木目の四万十ヒノキの机でリラックスして学べます。



張弦梁



日本伝統の貫工法

多目的実習室

式典などを催すホールは、日本伝統の貫工法を応用したトラス構造となっています。格子状の天井は圧巻。伝統技法と最新技法を対比させながら学ぶことができます。

CLT棟

教室などが並ぶCLT棟は、RC構造の建築に劣らない解放感を叶えています。コモンスペースのテーブル等随所にCLTを活用し、魅力を存分に体感できます。

CLT棟

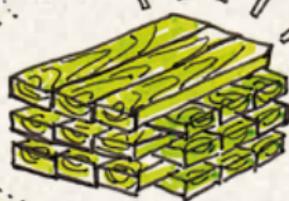
在来工法棟

実習棟

校舎

CLTとは？

校舎内、CLT棟や駐輪場に使われているCLTとは、Cross Laminated Timber(クロス・ラミネイティッド・ティンバー)の略称です。ラミナ(挽き板)を直交方向に積層した大判のパネルで、強度面での優位性から大型建築や中層ビル等にも利用でき、木材需要の飛躍的な拡大が期待されています。JASでの名称は「直交集成板」。



いつでも必要な実習を可能にする「全天候型実習棟」

チェーンソーの操作技術や林業機械のメンテナンスなどの実習がいつでも可能な施設。実際の現場を想定したシーンを再現でき、天候に左右されずに実習ができます。

※架線技術をわかりやすく学習するために、全国初の架線シミュレーターも設置しています。



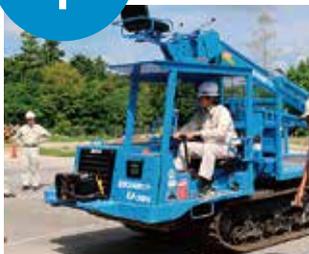
全国唯一
全天候対応の
実習棟を設置。



あらゆる面で安心して学べる環境

POINT
1

体験重視のカリキュラム!



フィールドワークが多い

技術の体得のために豊富な実習時間を確保した実践型のカリキュラムとなっています。



インターンシップ

実際に現場で仕事を体験することにより、知識や技術の向上と併せて、職場の理解を深めることができます。

POINT
2

充実した学習環境!



撮影 川辺明伸

建物自体が生きた教材!

林業振興の一端を担う校舎では、建物自体が教材として利用できるように工夫されています。全天候型の大型実習棟では、天候が悪い日でも実習できます。ここには林業を学ぶ最高の環境が整っています。



POINT
3

手厚い給付金も!

最大 **165** (年間) 万円を給付!

最先端の林業が学べる環境を兼ね備えた本校研修料は年額なんと約13万円(税込)という低額設定! あなたにも負担が少なく1年の学習に安心して取り組んでいただけます。

研修料/年額130,680円(税込)

※別途、教材費などの購入費200,000円程度

支援制度が充実!

高知県立林業大学校では、1人あたり最大165万円(年間)の給付金を支給する支援制度を整備しており、研修生は安心して研修に専念することができます。

給付金制度には要件があります。詳細については、お問い合わせいただくか、「高知県緑の青年就業準備給付事業について」のホームページをご覧ください。

高知県緑の青年就業準備給付事業について

高知 緑の青年

検索

POINT
4

全国から林業を志す仲間が集結!

県内はもとより、全国各地から幅広い年代の研修生が集う高知県立林業大学校は、研修生の約3割が県外出身者で、年齢は18歳から60歳代まで幅広いのが特徴です。



東京都出身

川崎 倫央

(当時27歳) Tsuhiro Kawasaki

専攻課程
林業技術コース 卒

就職先/
須崎地区森林組合

経済的にサポートしてくれる
給付金制度がありがたい!

美術大学で木彫を学んでいる時、衰退する林業や山の状況を聞き、何とか再生できないかと調べる過程でこの大学校と出会いました。また給付金制度の充実も入学の後押しとなりました。基礎課程を経て専攻課程へ進学しましたが、知識や技術の習得に加え、特用林産物や工場の見学などの体験もでき充実した日々を過ごすことができました。これからは、林業を含めた自然に携わる会社をつなげていけるような新しい仕組みづくりに貢献したいです。



徳島県出身

宮浦 悠也

(当時21歳) Yuya Miyaura

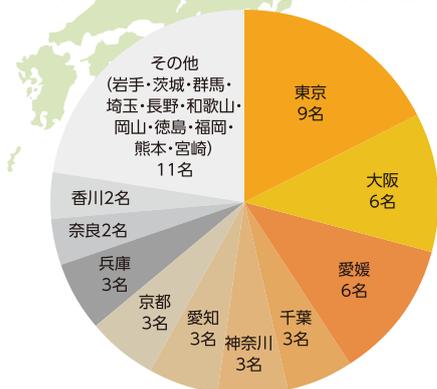
専攻課程
木造設計コース 卒

就職先/
(株)若竹まちづくり研究所

木造建築に携わる設計士は、
林業を知るべきです。

日本の木造建築と密接な関わりがある林業や山についても学べたことで、建築士の立場から森林資源をどう循環させていくべきかを理解しました。本コースで学んだ設計製図は、CADの使い方から模型製作、3Dモデリングまで、すべて実務で役立っています。木材コーディネーターや材料実験も学べます。木造建築に特化した本コースで、仲間と一緒に、木造の可能性を追求してみませんか。

高知県立林業大学校 学生出身都府県割合



※円グラフ:2021年4月時点 ※高知県は除く



空港・駅・インターチェンジからのアクセス			
高知龍馬空港		自家用車・タクシー 約30分(約13km)	
JR高知駅	特急 約12分	JR土佐山田駅	バス停「下杉田」 徒歩 約25分
			タクシー 約20分(約6km)
南国I.C		自家用車・タクシー 約45分(約22km)	
		自家用車 約30分(約12km)	

高知県立林業大学校

Kochi Prefectural Forestry College 2022

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80

Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788

<https://kochi-forestry.ac.jp> E-mail:030208@ken.pref.kochi.lg.jp

研修期間や定員、受講申請方法などを詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

高知県立林業大学校

検索

SNSもチェック!

研修の様子などを紹介します

